

よく見える
のために



本橋眼科クリニック



本橋眼科クリニック待合室

父子対談

本橋孝彦 × 本橋良祐

「よく見える」 のために

一般外来から日帰り手術まで

2つのクリニックについて、特徴を教えてください。

院長 京成船橋駅近くに「本橋眼科クリニック」（本院）。八千代台駅近くにも「もとほし眼科」（分院）を開業しています。本院・分院とも一般外来をし、目の不調の検査やアレルギー疾患の治療、コンタクトレンズの処方

など、「町のクリニック」として診療しています。本院では、これらに加えて、日帰り手術を行っています。また、高度な専門性の高い診療も行っています。

日帰り手術はどのようなものか？

院長 主に白内障手術です。数えたら、29年間で約2万件に上っています。このほか、緑内障の日帰り手術や眼底疾患のレーザー治療なども行っています。

良祐医師 私が来てからは、日帰りの硝子体手術にも力を入れていきます。網膜前膜や黄斑円孔の症例が最も多く、糖尿病網膜症や硝子体出血への対応、さらに眼内レンズ落下や眼内レンズ偏位

に対しての強膜内固定も行っていきます。日帰りで硝子体手術をできるころは少ないですが、当院では、よほど特殊な状態でない限り、日帰り手術で対応しています。

また、抗VEGF薬硝子体注射にも力を入れています。これは、切らずに注射で治療する方法で、患者様の負担がより軽くて済みます。私は、大学病院で加齢黄斑変性の研究をし、これまでに多くの患者様にこの治療を行ってききました。

クリニックで高度な手術ができるのですか？

院長 船橋で日帰りの

日帰り手術や高度な診療を、なぜクリニックで行うのですか？

院長 手術という大

白内障手術を最初に行ったのは私なのですが、当時はかなり先進的な取り組みでした。さまざまな機器の性能が上がった今は、特に白内障手術は、日帰りで行うクリニックが増えていきます。

良祐医師 当院では、より専門性の高い治療を患者様に提供するため、多くの専門医の先生にご協力いただいています。網膜・硝子体疾患を専門とされる竹内眼科クリニック副院長・塚原逸朗先生をはじめ、白内障屈折矯正手術に精通された専門医の先生方がご協力くださっています。

最先端医療を地域で身近に

きな病院を思い浮かべがちですが、実はクリニックのほうが自由度が高いという面があります。

私は10年ほど公立病院の眼科部長を務めたのですが、勤務医では思うように動けませんでしたが、学会にも自由に行けないし、最新機器もなかなか買ってもらえません。それでも最先端医療に関心があつたので、休暇を取って自腹でアメリカの学会に出ていました。

ところが……、そのうちに自分の中に葛藤が生じたのです。最先端医療を学んでいるのに、患者様に還元しなくてはならないのだらうかと。それで、自分が学んだ最先端医療を地域で気軽に受けていただけのクリニックを開いたのです。

良祐医師 地域密着のクリニックは、患者様にとって待ち時間が短くて済む利点もありますね。機器の進化のおかげで、今はクリニックでもさま

ざまな手術が可能です。高度医療が皆さまの身近になるのは、シンプルに素晴らしいことです。インターネットがない時代に、院長が海外の学会に参加し、最先端医療を日本に持ち込んだことは本当にすごいことだと思います。

院長 アメリカで開かれる春の白内障学会と秋の全米眼科アカデミーには毎年必ず参加していました。渡航費だけで、家が数軒建つくらい使ったかもしれませんね（笑）。

良祐医師 最近では1丁の進歩も目覚ましく、最先端医療をタイムリーに国内でも知ることができるようになりました。

院長 国外・国内学会から最先端医療を学び、大学病院レベルの治療を、多くの患者様に還元したいと考えています。



大学病院レベルの治療を、お待たせせずに地域の中で——。「本橋眼科クリニック」では、そんなコンセプトで一般外来から日帰り手術まで、幅広く眼科治療を行っています。2021年には、本橋孝彦院長の長男・本橋良祐医師が加わり、より先進的かつ多彩な専門治療を行えるようになりました。今回、二人のタッグによる医療体制がちょうど1年を迎えたのを機に、これまでのクリニックのことやこれからの眼科医療について、語り合いました。（聞き手・広報部）

眼科ドックをスタート

分院が始めた「眼科ドック」について教えてください。

良祐医師 昨年、分院の院長に就任して早々に導入しました。というのも、大学病院に勤務していた頃から、症状が悪化してからでないこと来院しない方が多いことを感じていたからです。実際、ある調査では、

目で困っているという自覚があるにもかかわらず眼科に行ったことがないという人が65%にも上っていたそうです。

しかし、症状が悪化している良いことなど何もありません。白内障や網膜疾患など専門性の高い医療を追究していると、「なぜこの状態に



八千代台駅近くにある「もとはし眼科」内観。本橋孝彦院長の妹・甲斐郁代医師が約30年受け持ち、2021年に本橋良祐医師が院長に就任しています

なるまで放置されてしまったのか」という状況に直面することが少なくないのですが、一方で、もっと手前で見えてくるようにするため



本橋孝彦
本橋眼科クリニック 院長

そこで、脳や内臓の検査と同じように、定期的な目の検査を受けても

らえるような取り組みができればと考えました。

30分の検査で、結果もすぐに

検査の内容はどのようなものですか？

良祐医師 ドックという大変そうないメージがあるかもしれませんが、当院の眼科ドックでは、患者様の身体的負担になるような検査はありません。専門

の機器は用いますが、基本的には目視による検査です。屈折検査や眼圧検査などの7項目を行います。時間にして30分程度。結果もすぐに出ます。具体的な疾患としては、白内障、緑内障、加齢黄斑変性症、ド

クックと

眼科ドック

- ◆屈折検査
- ◆眼圧検査
- ◆視力検査
- ◆眼底検査
- ◆涙液層破壊時間検査
- ◆網膜干涉断層計検査
- ◆細隙灯顕微鏡検査



全検査で約30分
検査料：5,000円
完全予約制

※2022年7月現在、「もとはし眼科」(八千代台)で実施

ライアイなどの早期発見に役立ちます。

提案されるまで私も気づきませんでした。

家族に緑内障の人がいる方、糖尿病や高血圧の方、眼精疲労が続いている方、目の痛みを感じている方には、ぜひすぐにも受けていただきたいです。

でも、軽い症状で見えるなら、治療の選択肢は各段に変わってきます。一人ひとりの治療時間も短くて済むはずですから、私たち医師にとっても、より多くの患者様に関わっていただけるメリットがある。その結果、地域の多くの方が良い目の状態を保っているなら、良いこと尽くめです。これは広めていこうという事で、本院でも眼科ドックを実施する予定です。

産婦人科から眼科へ

ところで、クリニックの歴史を教えてください。

院長 私の父母は、産婦人科医でした。今の本院がある場所で病院を開業し、先進的な手術もしていました。ところが、あるときの手術の際にC型肝炎がうつってしまい、体力が落ちてしまいました。それで、産婦人科を続けることが難しくなり、大学病院で改めて勉強し直し、眼科医になりました。

母は戦時中に学んだ人なので、ものすごく苦労をして医者になっています。東京大空襲のすぐ後にも試験があって、交通手段がないから、筏



本橋良祐
もとはし眼科 院長

で水死体を掻き分けながら川を渡ったというエピソードがあるほどです。眼科医となってからも、自分が癌で倒れるその日まで診療を続けていました。

良祐医師 今のは私にとつての祖母の話ですが、祖母の実家は時計と眼鏡を扱うお店だったと聞いています。

これは私の想像なのですが、眼鏡が身近な環境で育った祖母は、「ものが見える」大切さを知っていたように思います。それで眼科を選んだのかも知れません。

院長 それはありますね。「コンタクトレンズがなく、視力が職業選択にも影響する時代でしたから、「見える」大切さはよく分かっていたでしょう。

見ですが、眼科と産婦人科はとても共通点があるように思います。どちらも実感を伴って喜んでもらえる医科なので



時計・眼鏡店だった先代の手による柱時計が院内で時を刻んでいます

産婦人科は「生まれた」という感動、眼科は「よく見える」という感動です。ですから、どちらもダイレクトに「ありがとう」と患者様から言っていただけなので

する期間よりも、健康で働いて、学び、子どもを育てる期間のほうが長いものです。その間の生活の質を維持、あるいは向上に寄与するのが我々眼科です。地域の皆さまの「よく見える」をお支えするのが私たちの使命です。

院長 幼児から100歳の高齢者まで、どうぞお気軽にいらしてください。目の違和感や疾患を抱えていただきましたらすのではなく、我々を上手に活用して、健康で快適な状態を維持してい

ただきたいと思っています。**良祐医師** 院長の言う通りで、私たち眼科は、安全な生活を守るために必要な存在なのだと思います。病院というところでも「治す」「死を遠ざける」というイメージがありますが、実際には、人は生死を意識

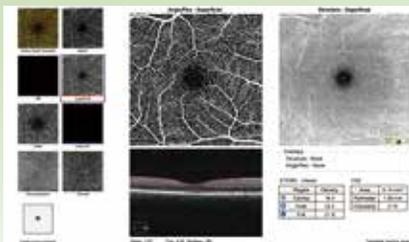
が早期発見できてよかった、重症になってしまったけど高度な治療を気軽に受けられた——そんな、「ここにきて本当に良かった」と患者さんに誇ってもらえるクリニックでありたいと思っています。

さまざまな最新機器

本橋眼科クリニックでは、さまざまな疾患に対応するため、多種・高機能の機器を設備しています。その一部をご紹介します。

検査機器の一例

IOL マスター 700		新しいレーザー干渉計を用いた屈折測定装置により、眼内レンズを選択します
広角眼底カメラ (Optos)		1回の撮影で、眼底を広範囲で撮影します
眼底三次元画像解析 (OCT Angio) 検査		網膜、隅角や視神経の断層写真を撮影します。糖尿病網膜症や加齢黄斑変性や緑内障の診断・経過観察にも有用です
動的ゴールドマン視野計		視野の広範囲を計測でき、視野障害の詳細な情報が得られます
静的オクトパス視野計		視野内の感度を検査します。緑内障の早期診断にも有用です



高度測定器による撮影映像の一例

多種・高度な日帰り手術

本橋眼科クリニックでは、年間約1000人の患者様が手術を受けています。より安全に、より確実に、よりスピーディーに行うため、最新鋭の機器を設置しています。

主な手術

白内障手術	開院以来、20,000件以上の実績があります
硝子体手術	網膜前膜や黄斑円孔、眼内レンズトラブル手術などを多く行っています
硝子体注射	糖尿病黄斑浮腫、加齢黄斑変性、網膜静脈閉塞症による黄斑浮腫などの注射を多く行っています

最新機器の一例

ZEISS社最新高解像度顕微鏡 OPMI Lumera i		より鮮明に見える顕微鏡で、低照度のため、患者様への負担も軽減されます
次世代型白内障手術装置 センチュリオン・ビジョン・システム		眼内圧の変動による手術中のリスクを軽減できる、業界初のシステムです
コンステレーション・ビジョン・システム		硝子体の状態を精密に確認できる高度・最新システムです

白内障手術の基本的な流れ

〈手術を希望されてから2週間後を目安に行えます〉

- ◎当院の医師による診療。眼内レンズをお選びいただけます
- ↓
- ◎受診してから2週間後を目安に手術します
- ↓
- ◎手術翌日に診察 (経過観察)
- ↓
- ◎術後3日目に診察 (同)
- ↓
- ◎術後7日目に診察 (同)
- ↓
- ◎以降はご紹介元の医療機関にて、定期的な経過観察

日帰り手術のご紹介を受け付けています。詳しくは事務局 (047-420-2001) へ。

当院の医師・協力医師

当院には多数の専門医、協力医師がいます。各専門分野のエキスパートです。



塚原逸朗 医師
竹内眼科クリニック 副院長
専門：網膜硝子体疾患

東邦大学医学部卒業、東邦大学桜病院眼科助手の後、ニュージャージー医科大学に留学。帰国後、東邦大学佐倉病院眼科医局長を経て、竹内眼科クリニック副院長



谷口有子 副院長
日本眼科学会認定専門医
専門：網膜疾患

東京医科大学医学部卒業、大月市立病院眼科勤務を経て、2001年から本橋眼科クリニックに勤務



小島隆司 医師
(手術協力医)
岐阜赤十字病院 眼科主任部長
専門：白内障疾患

名古屋大学医学部卒業、社会保険中京病院医員を経て、ハーバード大学及びイリノイ大学眼科留学。帰国後、慶應義塾大学医学部博士号取得、岐阜赤十字病院眼科主任部長。慶應大学眼科准教授、中国大連医学校眼科客員教授、モンゴルウランバートル医大眼科客員教授



吉田則彦 医師
(手術協力医)
岐阜赤十字病院 眼科主任部長
専門：硝子体手術 白内障疾患

大阪医科大学医学部卒業、社会保険中京病院 (現・③) 地域医療機能推進機構中京病院 眼科医員などをを経て、米国コロンビア大学留学。社会保険中京病院眼科医長の後、岐阜赤十字病院眼科部長。受賞に「2014 ASCRS Film Festival "Instruments & Devices/IOL" Grand Prize」。大連医科大学眼科客員講師



本橋良祐 医師
もとはし眼科院長
専門：白内障疾患
網膜硝子体疾患

東京医科大学医学部卒業、東京医科大学病院、東京医科大学茨城医療センター、同八王子医療センター、西東京中央総合病院眼科部長を経て、2021年にもとはし眼科院長に就任。眼科専門医、医学博士



本橋孝彦 院長
本橋眼科クリニック 院長
専門：白内障疾患

東京医科大学医学部卒業、東京医科大学助手、船橋市医療センター眼科部長 (東京医科大学講師兼任) などを経て、1993年に本橋眼科クリニック開設。日本眼科学会認定専門医、日本眼科学会会員、アメリカ眼科アカデミー会員 (1988年から毎年出席)、アメリカ白内障屈折手術学会会員、日本網膜硝子体学会会員など

本橋眼科クリニック



☎ 047-420-2001

船橋市本町 2-1-1 船橋スクエア 21 B1F
(京成船橋駅から徒歩3分)

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
8:30 ~ 11:30 (受付)	○	○	○	○	○	○	×
午後 (予約制)	手術	手術	手術	×	手術	×	×

※祝祭日は休診

- ◎眼科外来
- ◎コンタクトレンズ、眼鏡処方 (予約制)
- ◎日帰り手術 (白内障、硝子体手術など)
- ◎日帰りレーザー手術
- ◎抗 VEGF 薬硝子体注射



もとははひ眼科

☎ 047-485-0957

八千代市八千代台北 6-1-11



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
8:30 ~ 11:30 (受付)	○	○	○	×	○	×	×
午後	×	×	×	×	×	×	×

※祝祭日は休診

- ◎眼科外来
- ◎眼鏡処方
- ◎眼科ドック

